

今号の作業

ドライブチェーンをチェックする



今号ではドライブチェーンを提供する。実車のチェーンと同じスチール製で、1コマずつ組まれた精巧なパーツだ。これとファイナルドリブンスプロケットとの噛み合わせをチェックし、よりスムーズに動くよう“慣し”を行うことが今回の作業となる。

今号のパーツ

①ドライブチェーン×1



※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

- ・ブラシもしくはハケ
- ・グリス(6号で提供し、保管しておいたもの)
- ・軸の丸い棒(太書き用の油性ペンなど)
- ・ペーパータオル(擦っても毛羽立たないもの)

用意するもの

- ・リヤタイヤ&リヤフォーク(29号で組み立てたもの)
- ・ビニール袋(パーツが入っていた袋で可)
- ・セロハンテープ



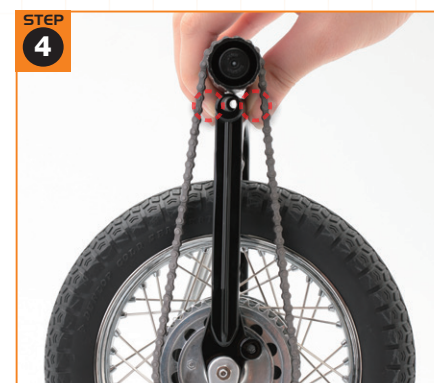
ファイナルドリブンスプロケットが上になるようリヤタイヤ&リヤフォークを置き、後方から①ドライブチェーンを取り付ける。



ドライブチェーンが外れないよう、スプロケット側を押さえたまま、反対側をリヤフォークの支持部側(写真左側)へ引き伸ばす。この時、ドライブチェーンとリヤフォークが擦れないよう注意する。



リヤフォークの支持部とチェーンとの間に、直径15mm程度の丸い棒を差し込んで、スプロケットとは反対側に引っ張る。



③の状態のまま、写真のようにリヤフォークを立てる。この時も、ドライブチェーンとリヤフォークが擦れないよう注意する。また、チェーンはできるだけ張った状態にする。



棒とリヤフォークがずれないように保持し、なおかつリヤフォークが垂直に立った状態を維持したまま、リヤタイヤを前後に動かして回転させる。これにより、スプロケットとチェーンの噛み合わせ部分が擦れ、スプロケットの歯外縁にのこった余分な部分が削られる。



スプロケットとチェーンとの噛み合わせ部が滑らかになると、⑤の回転がスムーズになる。そうしたらチェーンをスプロケットから取り外す。



折りたたんだペーパータオルにチェーンを乗せ、グリスをすべてのコマに塗布する。



ペーパータオルでチェーンを包み、チェーンをゆっくりと引いてグリスを塗り込む。この作業はグリスを“拭き取る”のではなく、コマを動かす内部の軸にグリスを染み込ませるためだ。

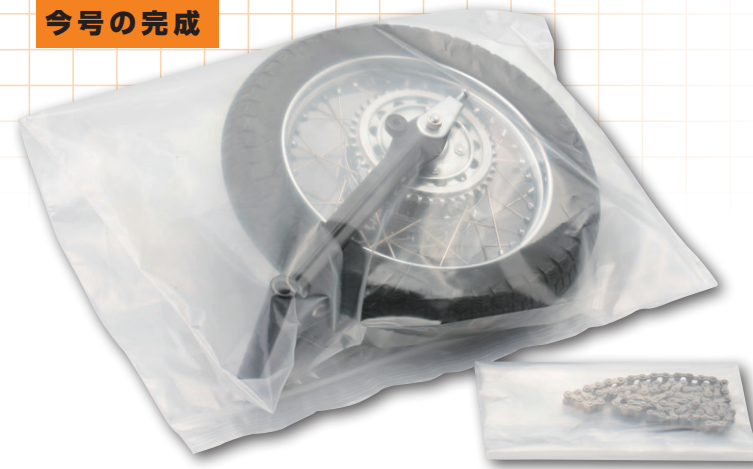


ビニール袋にチェーンを入れ、セロハンテープでしっかりと封をしておく。チェーンはスチール製なので、グリスによる油膜が定着するまではパーツ表面に赤サビが発生しやすい。



チェーンと擦れたことで、削り落とされた金属粉が付着しているので、ブラシやハケを使ってスプロケットの歯外縁部を掃除する。それが終わったらビニール袋に入れて保管しよう。

今号の完成



今回の作業はこれで完了だ。チェーンを取り付けたまま保管することもできるが、リヤフォークに傷を付けないようにするため、面倒でも別々のビニール袋に入れ、次回の作業まで大切に保管しておこう。